

くらよし

January
2009

1

平成 21 年 1 月号

No.1367

まちづくりキャッチフレーズ **人と自然と文化がつくる「キラリと光る新中核都市」**



CONTENTS

- 新年に寄せて 2
- 平成 20 年 12 月第 8 回市議会定例会報告
／表紙の写真 3
- 平成 20 年倉吉市政主要ニュース 4 ~ 5
- 平成 19 年度決算概況 6 ~ 8
- 平成 20 年度上半期予算執行概況 9
- インフォメーション・プラス 10 ~ 12
- インフォメーション 13 ~ 16
- ハート・バリアフリー 17
- 出かけてみよう！ 18 ~ 19
- あんしんファイル／介護予防 20 ~ 21
- まちかどピンナップ
／ソナ・チャン・イヤギ 22 ~ 23
- 若者の定住化に向けて／人口 24

謹賀新年



倉吉市議会議員 段塚 ひろふみ 廣文



倉吉市長 長谷川 Hisashi 稔

議員活動の節目の年に向かって

新年あけましておめでとう
ございます。
皆様には希望に満ちた健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。
「著眼高めれば則ち理を見て岐せず」
眼の付け所をなるたけ高いところに置かならば、よく道理が確認されて迷うことはない。の意で、もとより及ぶべくもないものの地方議員として、以つて命ずべき金言の一つとして大切にしていきたいものと思っております。
さて、我が国経済は米国のサブプライムローンに端を発した世界的な金融危機に直面

し、景気の低迷が極めて顕著になりつつあります。そうした中において、政府は社会保障関係予算を毎年2,200億円削減するという骨太の方針2006を見直し、歳出削減路線から景気浮揚対策路線へと基本方針を大きく転換しました。一日も早い経済の回復を期待するものであります。
一方、第29次地方制度調査会は、分権時代に合った議会の仕組み、いわゆる議会制度を正面から取り上げ、地方議会改革に向け調査に着手しました。その改革の方向は二つ。一つには、制度運営上の問題

また一つには議員の質や人材確保の問題であります。これが実現すれば、自治体における議会の裁量は大きく広がり、極めて重いものになるとされております。住民と一緒になった地方議会制度の確立への取り組みが求められております。
倉吉市は、行財政改革を進めながら厳しさを増す財政事情の中にあつて、将来都市像である、人と自然と文化がつくる「キラリと光る新中核都市」の実現をめざして、「若者定住促進」を重要課題として地域の特性を生かした産業振興、医療や福祉という基本

的な行政サービスの充実に積極的に取り組んできております。引き続き計画的かつ安定的な行政運営により、住民福祉の向上に更なる進展を期待するものであります。
本市議会におきましては、分権時代に合った議会をめざして議会改革に取り組み、当面する諸課題はもとより、あらゆる分野で常に現状認識を的確に捉え、スピードをもつて市民の負託に応える議会の実現に努めてまいりました。でございます。

結びに、新たな年が皆様にとりまして平穏で、幸せ多き年となりますことを重ねてご祈念申し上げます。併せて倉吉市の大きな飛躍を期待して、年頭のあいさついたします。



先憂後楽を信じて

新年あけましておめでとう
ございます。市民の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。
さて、昨年は市制施行55周年を迎え、改めて倉吉市がこれまで歩んできた足跡を振り返り、輝かしい歴史と先人の功績に対して敬意を表するとともに、市民一人ひとりの参画と協働に胸を熱くしたところでありました。
振り返りますと、重点施策であります「若者の定住化促進」を大きな柱として、特色ある取り組みを進めて参りました。その主なものとして、「若者定住新

築住宅固定資産税免除」、「就学前から小学6年生までの特別医療費助成」、「保育料の第3子同時入所無料」、「第3子学校給食費支援」、「特定不妊治療費5年間助成」などがあり、子育て世代のより安心で快適な暮らしの創出へ向けて施策展開を図ってきたところでありました。さらに「くらし元気体操」は、地域やグループを通じて子どもから高齢者まで幅広く普及活動を行っており、現在では市民の心身の健康増進に大きな役割を果たすまでになりました。
また、地域で認知症の方やその家族の皆さんを支えていく事業として「認知症になつても安心して暮らせるまちづくりモデル地区」を目指し、記憶を失い、不安を感じておられる方々の「心」を心地よくと感じられる環境づくりを展開してまいります。

一方、倉吉を代表する商家であり大阪の豪商淀屋との関連が伝えられる旧牧田家建物を約1年かけて改修し、「倉吉淀屋」として整備しました。市民の誇る歴史的価値の高い文化遺産の再生を歴史と文化の薫り高きまち倉吉の象徴として、地域住民とともに有効に活用していきたいものであります。
昨年末からの、世界経済の余波を受けたわが国の状況は深刻さを増し、市内でも景気の悪

化が進行していることは否めません。しかし、このような時にあつても、行政にできる最善の策によつて市民生活への影響を最小限に食い止めようと、本年1月中旬をめどに倉吉市短期融資制度に緊急特別枠を創設し、緊急支援制度を開始します。これは、市内中小企業者への運転資金の確保を目的としたもので、融資期間内に事業者の支払い利息を無利子とするなど、関係機関との緊密な連携によつて少しでも事業所への支援ができればと編み出したものであります。同時に、地域経済を将来へ発展させるため、高度な支援策の展開、ハローワークなど、関

係機関とのネットワークを生かした雇用情報の提供を推進しようとして、昨年12月1日にスタートした地域SNS「住まいな倉吉」を活用し、地域に住む人、働く人が、相互に就業に関する情報などを交換することで、就職活動の支援やU・I・ターンの一助と考えているところであります。
今、このような時だけに、市民の皆さんと共に苦悩を重ねる中から先憂後楽を信じ、「元氣！再発進」を掲げて着実な歩みを進めてまいります。
新年も変わらぬご理解とご協力をお願いし、すべての市民のご多幸をお祈りして新春のあいさつとさせていただきます。

緊急経済対策事業(総額8,827万円)などを盛り込んだ

平成20年度一般会計および特別会計補正予算案など37議案を審議

平成20年12月第8回倉吉市議会定例会が、12月5日(金)から12月18日(木)まで開催され、平成19年度一般会計および特別会計補正予算など37議案、陳情11件、議会議決4件などが審議されました。

会議録(質問、答弁など)は、各地区公民館、各人権文化センター、市立図書館、市役所2階の「市民と市長のふれあいコーナー」などで、3月上旬からご覧になれます。市議会会議録検索システムは、倉吉市ホームページから利用できます。

※問合せ先：議会事務局(☎2218145/FAX2218146)

報告

【報告受理 2件】
議会の委任による専決処分について(損害賠償の額の確定について)計2件

議案

【原案可決 32件】
平成20年度一般会計補正予算、国民健康保険事業特別会計など計16件の予算案件
国民健康保険条例の一部改

▼倉吉市勤労青少年ホームの指定管理者の指定について
▼倉吉市久米農村広場の指定管理者の指定について
▼倉吉市せきがね湯命館の指

▼倉吉市公民館の指定管理者の指定について
▼【同意 2件】
公平委員会委員の選任について(河本繁治さん)

▼小規模作業所の存続を求めている
▼移動火葬車の取り扱いについて
▼倉吉市新町駐車場について 3件

▼障害者自立支援法の事業者報酬の抜本的見直しを求めている
▼倉吉市営新町駐車場の存続を求めている
▼倉吉市新町駐車場の存続を求めている
▼倉吉市新町駐車場の存続を求めている

定管理者の指定について
▼倉吉市関金都市交流センターの指定管理者の指定について

▼人権擁護委員候補者の推薦について(小谷次雄さん)

る意見書提出と、利用者負担の廃止について

▼倉吉市せきがね簡易宿泊施設の指定管理者の指定について

▼現行保育制度の堅持・拡充等を求める意見書提出について

▼貧困の連鎖を断ち切り、市民生活の底上げを求める意見書提出について

▼倉吉市関金生産物直売所食材供給施設の指定管理者の指定について

▼地域生活支援事業に係る国庫補助に関する意見書提出について

▼地域生活支援事業における応益負担の見直しについて

▼倉吉市営温水プールの指定管理者の指定について

▼障害児デイサービスの存続を求めている意見書提出について

▼現行保育制度の堅持・拡充等を求める意見書提出について

▼倉吉市体育施設の指定管理者の指定について

▼障害者自立支援法の事業者報酬の抜本的見直しを求めている意見書提出について

▼地域生活支援事業に係る国庫補助に関する意見書提出について

▼倉吉市公民館の指定管理者の指定について

おもな審議内容

●指定管理者の指定

指定管理者を公募した施設

- ・伯耆しあわせの郷
- ・勤労青少年ホーム(リフレプラザ倉吉)
- ・せきがね湯命館
- ・関金都市交流センター
- ・せきがね簡易宿泊施設
- ・市営温水プール
- ・体育施設(14施設)
- ・関金農林漁業者等健康増進施設

指定管理者が変わる施設

伯耆しあわせの郷: 旭ビル管理株式会社 (米子市)	
勤労青少年ホーム (リフレプラザ倉吉): 倉吉文化団体協議会 (倉吉市)	
せきがね湯命館: 有限会社トラベルシリウス(真庭市)	
関金都市交流センター: 有限会社トラベルシリウス(真庭市)	
せきがね簡易宿泊施設「湯楽里」: 有限会社トラベルシリウス(真庭市)	

●緊急経済対策事業

総額 8,827 万円

- ▶国の地域活性化・緊急安心実現総合対策交付金を活用する保育園・小中学校の整備事業…2,240万円
- ▶平成22年度以降に予定していた事業を前倒した市道・農業用排水路整備事業および倉吉駅周辺まちづくり整備事業…3,160万円
- ▶原油価格の高騰にかかる灯油購入費助成金事業および公衆浴場確保対策事業…540万円
- ▶特定不妊治療費助成金の増額…50万円
- ▶倉吉市内で設備投資をし、倉吉市企業立地促進補助金を受けている企業に対し、3年分割交付を一括繰上げ交付にする…2,552万円
- ▶中小企業緊急支援事業利子補助金…283万円

●倉吉市議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例案が動議で提出され、可決。議員の定数は21人から20人に。1月1日以後初めてその期日を告示される一般選挙から施行されます。

表紙の写真

今年、丑年。

倉吉市内でも、多くの和牛や乳牛が飼育されています。

今回、撮影のためお邪魔したのは、河本一男さんの牛舎(関金町今西)です。

河本さんは、平成19年に鳥取県で開催された「第9回全国和牛能力共進会」の第6区(高等登録群II母娘1孫娘にわたる改良の成果を競う部門)で優等席3席(全国第3位)に輝いておられます。



▲牛の管理は河本一男さん(73)、牛舎の管理は妻の勝子さん(72)と、二人三脚で経営されています。



▲農業大学校も取材させていただきました。ありがとうございました。

2008年 倉吉市政 主要ニュース

平成20年は皆さんにとってどんな年でしたか？

本市では、市制施行55周年記念式典の開催、鳥取キタロウズVS茨城ゴールデンゴールズ交流試合、市の鳥「メジロ」の制定、市営温水プール利用者50万人達成、倉吉市地域SNS「住まいな倉吉」の開設など、いろいろなことがありました。

これらの出来事や事業の中から特に市政にとって主要なニュースをご紹介します。

2008年倉吉市ではこんなことがありました。

3月

小鴨小学校屋内運動場竣工

地元倉吉産の杉丸太材約400本を構造材として使用したトラス屋根が特徴的な鉄筋コンクリート造一部木造平屋建(延面積1,189㎡)の屋内運動場が完成しました。引き続き、プールが平成21年3月に完成予定であり、4月のグランドオープンが待たれます。



4月

小学生を対象とした医療費助成制度を開始

県から助成される小学校就学前の子どもに対する医療費助成に加え、小学校就学児童に対する医療費助成を倉吉市単独で4月から開始しました。平成20年5月1日現在対象となる児童は2,771人で、9月末現在で述べ2,420件394万727円の支給を行いました。

7月～

くらしよ元気体操の普及

市民の健康づくりの意識の向上と実践を目的として、「全身体操編」「筋力トレーニング編」「介護予防編」の3種類の体操が3月末に完成。体操を普及させるために、今年度から3年計画で、市民から公募(6月1日(日)～7月14日(月))した普及員の養成を開始しました。

全身体操編40人、介護予防編34人の普及員が誕生して、各地区公民館文化祭や各種のイベントなどにおいて紹介普及に努めました。



8月

琴桜・赤瓦観光バス回転広場及び 琴桜・赤瓦観光駐車場がオープン

倉吉観光に訪れる人のために、大型観光バス7台分の駐車スペースを備えた観光バス回転広場と、身障者用駐車スペースを含む13台分の乗用車専用観光駐車場を整備し、8月1日(金)にオープンしました。



8月～10月 指定管理者を全国公募

伯耆しあわせの郷、せきがね湯命館など、指名指定期間が平成20年度までの施設の一部などにつき、平成21年度からの指定管理者を公募により決定しました。民間ノウハウの活用による住民サービスの向上と経費節減を目指します。

10月

上灘中央交流センター(上灘公民館)完成

市内最大の延床面積(865.99㎡)を有し、広い駐車場、敷地内南側には年代に関係なく利用できる健康遊具、また、オストメイト対応の多目的トイレなど障がいのある人をはじめ、子どもから高齢者まで気軽に利用できるよう配慮されています。

上灘地区の生涯学習と住民自治活動の拠点として、また、広く市民交流の場として期待されます。



10月

自主防災都市宣言

安心安全なまちづくりに向けた態勢づくりと、災害時における市民・団体などの自主的かつ主体的な防災活動を推進するため、第6回倉吉市議会定例会において、決議されました。

※11月27日(木)「自主防災都市くらしよ」看板掲示

自主防災都市宣言

私たちは、「自分の命は自分で守り、自分たちの地域は自分たちで守る」ため、消防団の整備や自主防災組織の充実を図るなど、自ら災害に備えるための手段を講じるとともに、災害時には自ら危険を察知して行動し、自らが自発的な防災活動に努めます。

10月

日圧スーパーテクノロジーズ株式会社 西倉吉工場の増設に伴う協定書調印式

日圧スーパーテクノロジーズ株式会社西倉吉工場が、製造機能の強化を目的として工場の増設(投資額約100億円、新規雇用約200人)を行うことになり、これを支援する鳥取県および倉吉市との間で協定書調印式を行いました。



10月

市制施行55周年記念式典を開催

“元気！再発進くらしよ”をテーマに約700人が参列し市制施行55周年を祝いました。式典では功労・善行表彰及び感謝状が贈られた後、市民投票などにより10月2日(水)に制定された市の鳥「メジロ」の発表、倉吉市イメージソング「倉吉城下町」、また、「くらしよ元気体操」が披露されました。同時に市制施行55周年記念事業として「倉吉市政に関する展示、PRコーナー」と「NHK公開セミナー「司馬遼太郎がみた『街道』と文化」」が行われました。



11月

市指定有形文化財旧牧田家 住宅(主屋)保存修理工事完成

平成19年10月から進めていた市指定有形文化財旧牧田家住宅主屋保存修理工事が完成し、11月22日(土)にその完成式を行いました。宝暦10年(1760年)に建設された旧牧田家は倉吉で最も古く、大阪の豪商「淀屋」ゆかりの町屋建物であることから、この日から「倉吉淀屋」と呼ぶことになりました。

